

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【公開番号】特開2017-3991(P2017-3991A)

【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2016-115940(P2016-115940)

【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年5月22日(2020.5.22)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 3】

図4は、それぞれが異なる安定化度を有する（が、円柱矯正は一切ない）図1A～図1Cに示されるレンズデザインなどの3つのレンズデザインのよう~~に~~回転不安定性のインピボの臨床測定値からのデータを示すグラフである。これらの安定化デザインは、高円柱矯正に対する安定化ゾーンにおける最大厚み差（すなわち、100%）、及びその最大厚み差の選択された割合（すなわち、50%、70%）を有するレンズに対応している。特定の実施形態において、安定化ゾーンの厚さは、最大厚み差の30%～95%、例えば50%～80%であってもよい。特定の実施形態において、最大厚み差は、0.1mm～0.5mm、例えば、0.15mm～0.4mmの範囲内であってもよい。